

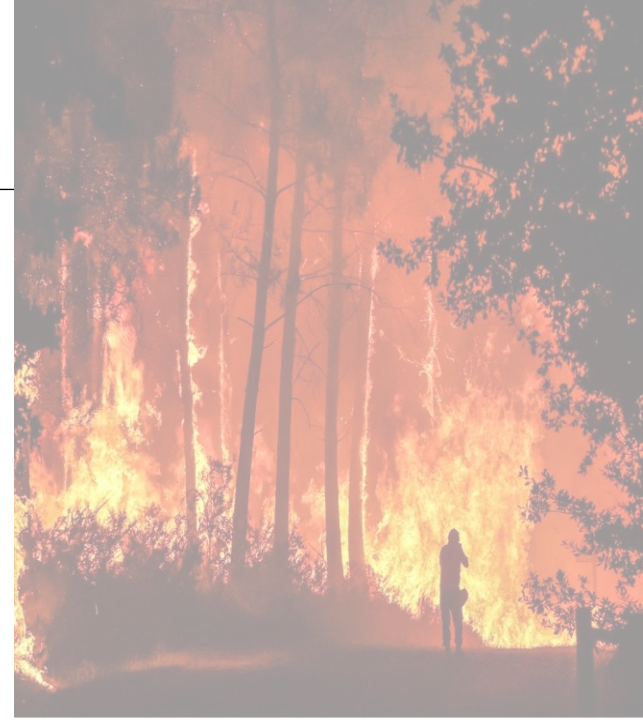
誰一人取り残さない防災に向けて ～医療的ケア子・者とその家族と 地域防災コミュニケーションの必要性～

朴慧晶、北村美和子、原裕太、小野裕一、栗山進一

東北大学 災害科学国際研究所 (IRIDeS)

目次 a Table of Contents

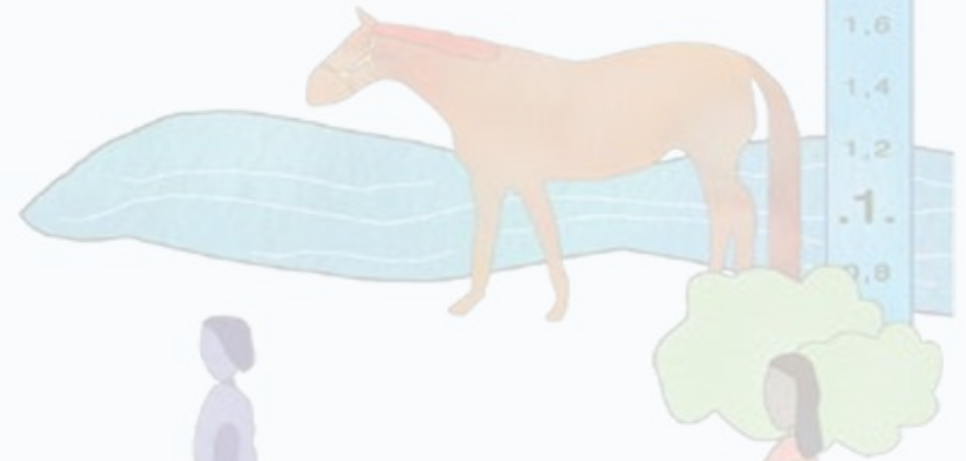
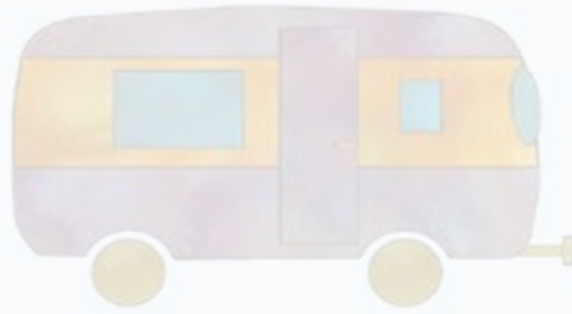
1 インクルーシブ防災



2 当事者からの学び



3 まとめ: 誰一人残されない 防災コミュニケーション



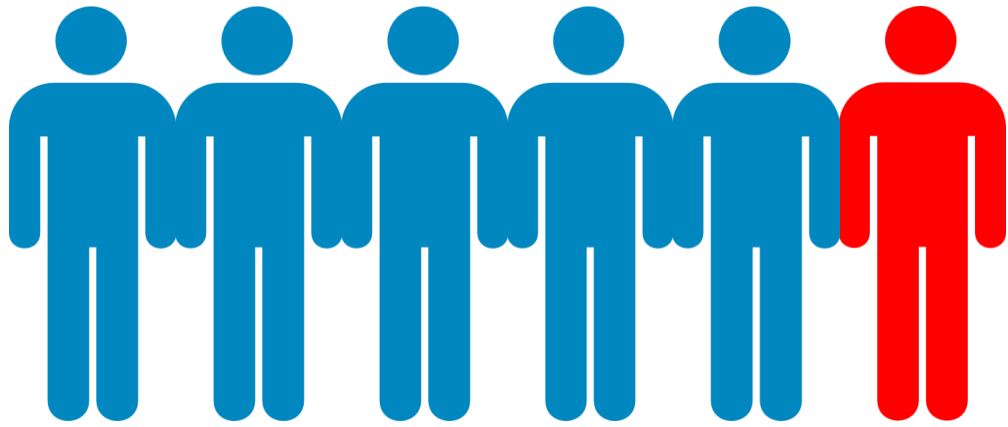
Part 1,

インクルーシブ防災



障がい者の数

世の中に、

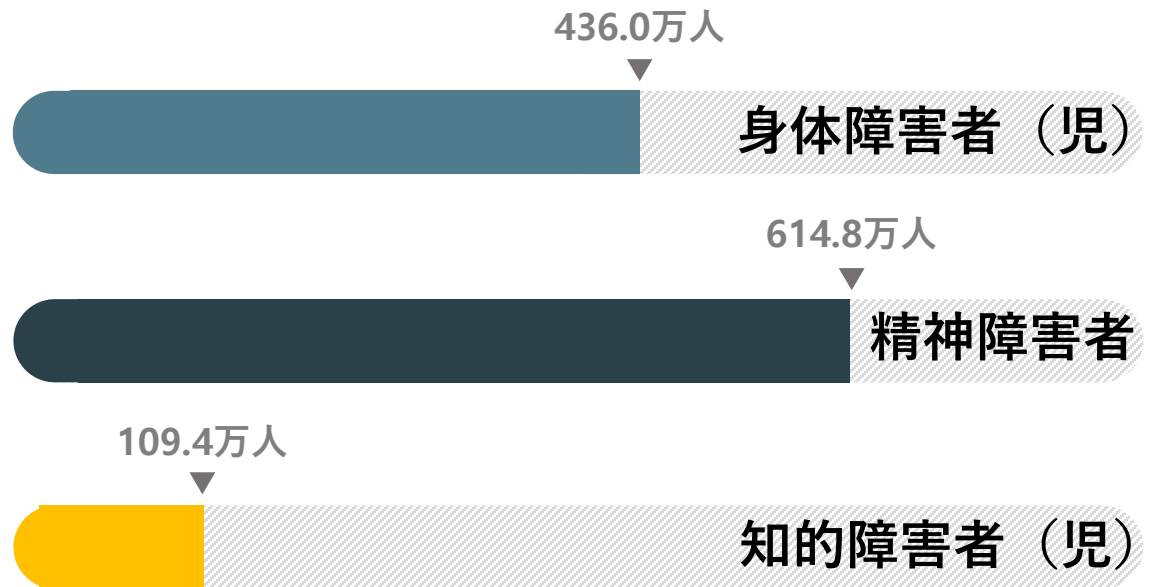


6人に1人が障害を持つ

2023年3月、約80億人¹に約13億人²（約16%）

日本には（2022年12月時点）

総計 1160.2万人¹
（人口の約9.2%）



¹ Worldometer, Accessed September 12, 2023

² WHO (2023), Fact Sheets in Disability

¹ 厚生労働省 障害福祉サービス等情報開示改定検討チーム
<生活のしづらさなどに関する調査>、2023

インクルーシブ防災

障害 × 貧困 = 災害リスク ↑¹

レジリエント社会に向けて障がいがある人を含む防災の実現が必要^{1,3}

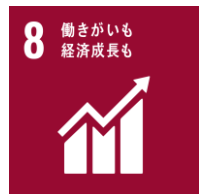
誰一人取り残さない (Leave No One Behind)



障害者を含む
人間中心アプローチ²



教育



経済



平等



まちづくり



パートナーシップ

¹ UNDRR, 2023. Global Survey Report on Persons with Disabilities and Disasters. report 2017.

² UNDRR, 2015. Sendai Framework.

³ ESCAP, 2017. Leave no one behind Disaster resilience for sustainable development – Asia-Pacific disaster

インクルーシブ防災のための優先事項

2023年国際連合のサーベイ¹（参加：132国から6,342名）

- 1 災害リスクを減少、対応を邪魔する貧困や不平等などの**根本的なリスク解決**
- 2 インフラストラクチャー、施設、交通などを**みんなが使える原則を防災計画へ適用**
- 3 障がい者の災害リスク認識・レジリエンス（準備）を高めるための**防災能力・機会向上**
- 4 障がい者を含むインクルーシブ防災のための**様々なステークホルダーとの協力**
- 5 防災活動と意思決定に**公平な参加の機会を確保**

¹ United Nations, 2023 Global Survey Report on Persons with Disabilities and Disasters.



Part 2,



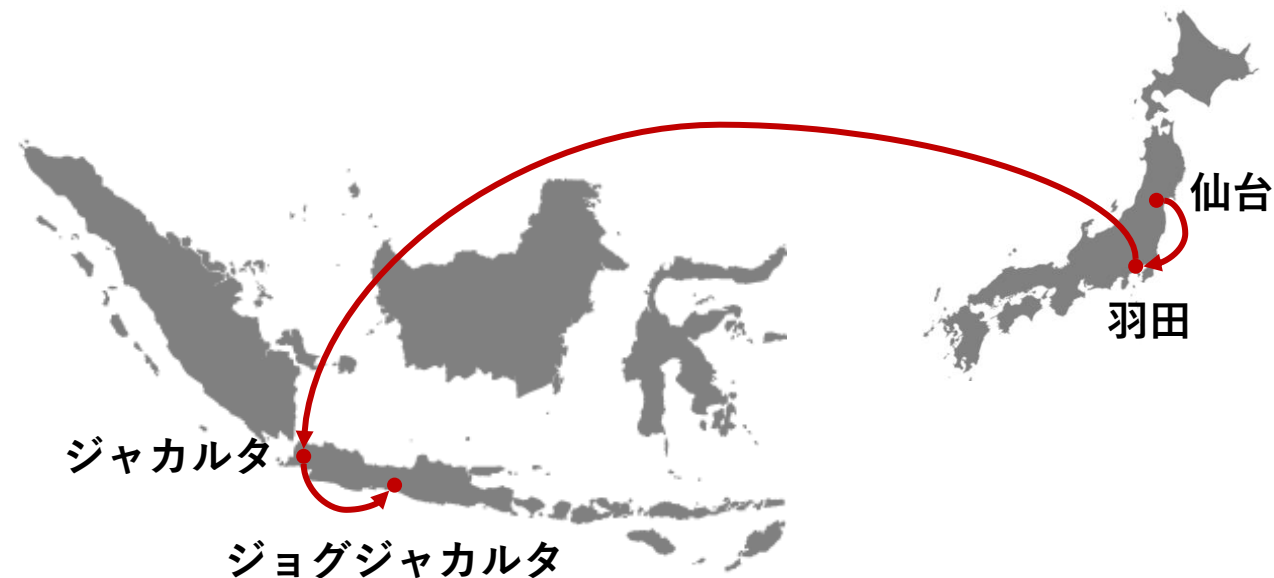
当事者からの学び : 医療的ケア者



概要

旅程：2023年10月9日－14日

目的：災害時の障がいを持つ医療的ケア者
とそのご家族の経験を学際的に共有



避難する時の様々なチャレンジを考えて
旅程を災害時と想定
移動－医療支援－安全・衛生－情報

人工呼吸器

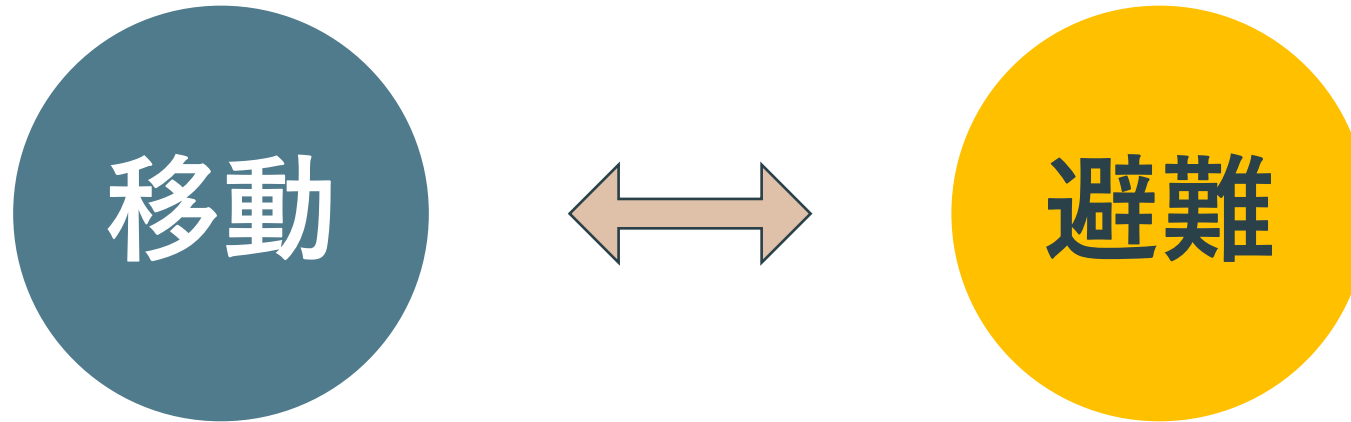
加温加湿器

吸引器

酸素ボンベ

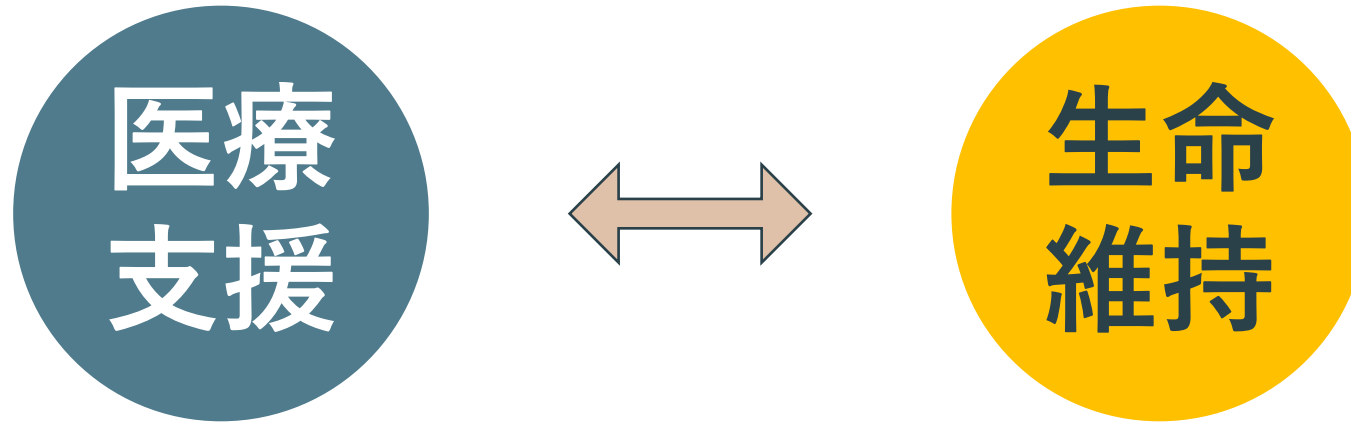
リクライニング車椅子

移動関係



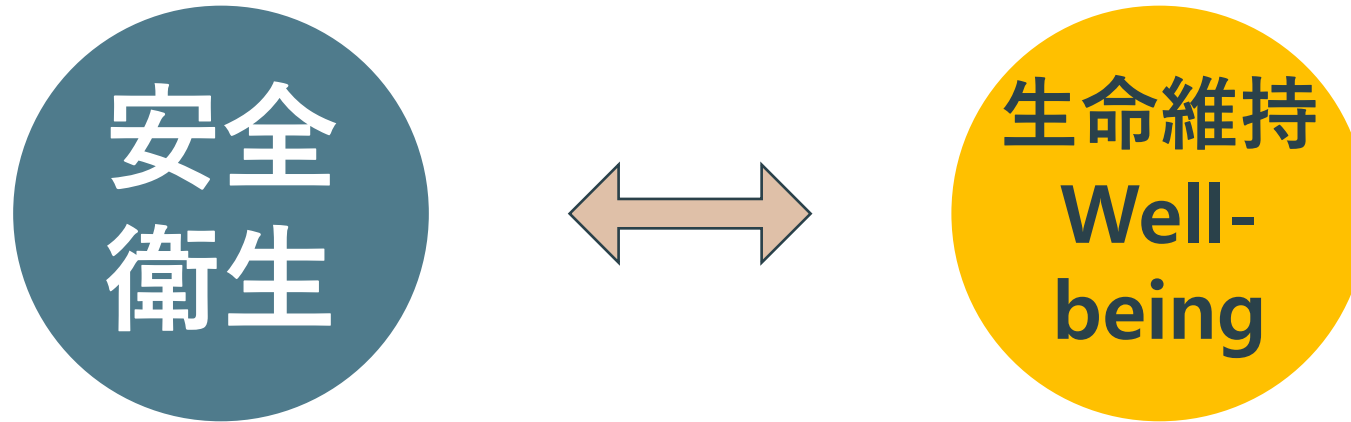
- 生命維持に関する必修である**医療機器を持って避難できるのか？**
- **道路の状態**は車椅子で移動できるのか？
- ビルの高い層にいる時、**停電になった場合**、移動設備（エレベーターなど）
を**使えるのか？**
- 避難するべき場合、スムーズに**アクセスできる避難所**があるのか？

医療支援関係



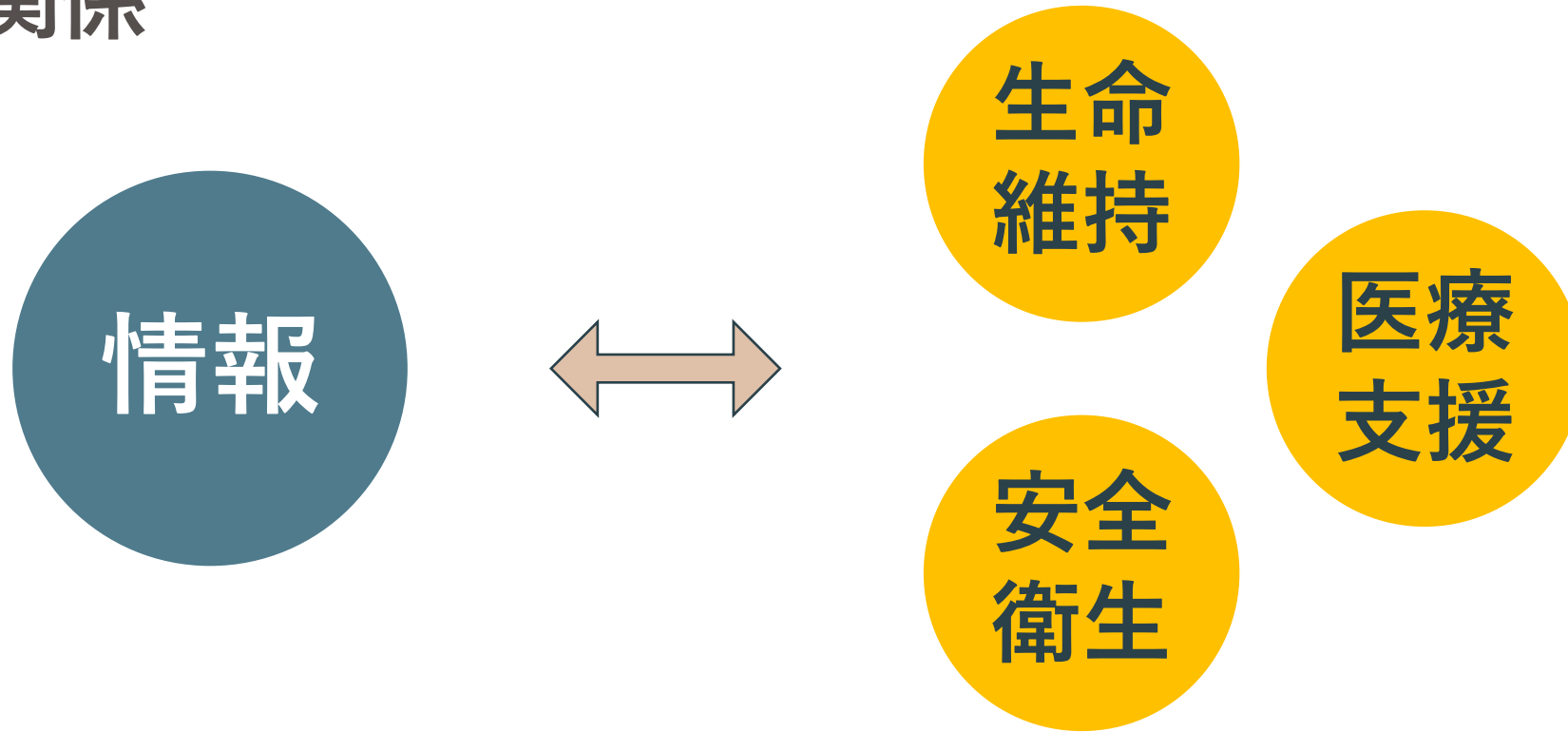
- 生命維持に関する**医療機器は避難中又は避難所で問題なく使える**のか？
(器機損傷、停電等)
- 災害時、**必要な医療支援をすぐ受ける**ことができるのか？
(技術・介護・栄養・特別な治療)
- **医療的ケアができる空間**を十分確保できるのか？

安全・衛生関係



- 避難している場所の安定的な衛生状態・安全性を確保できるのか？
(空気、水等)
- 避難場所は感染症等に対して予防対策を適用しているのか？

情報関係



- 緊急状況に**必要な情報を正しいタイミング**に取れるのか？
- **現実的に適用できる災害計画**を共有されているのか？
- 災害時、すぐ避難、移動、安全確保に**支援が出るソース**があるのか？



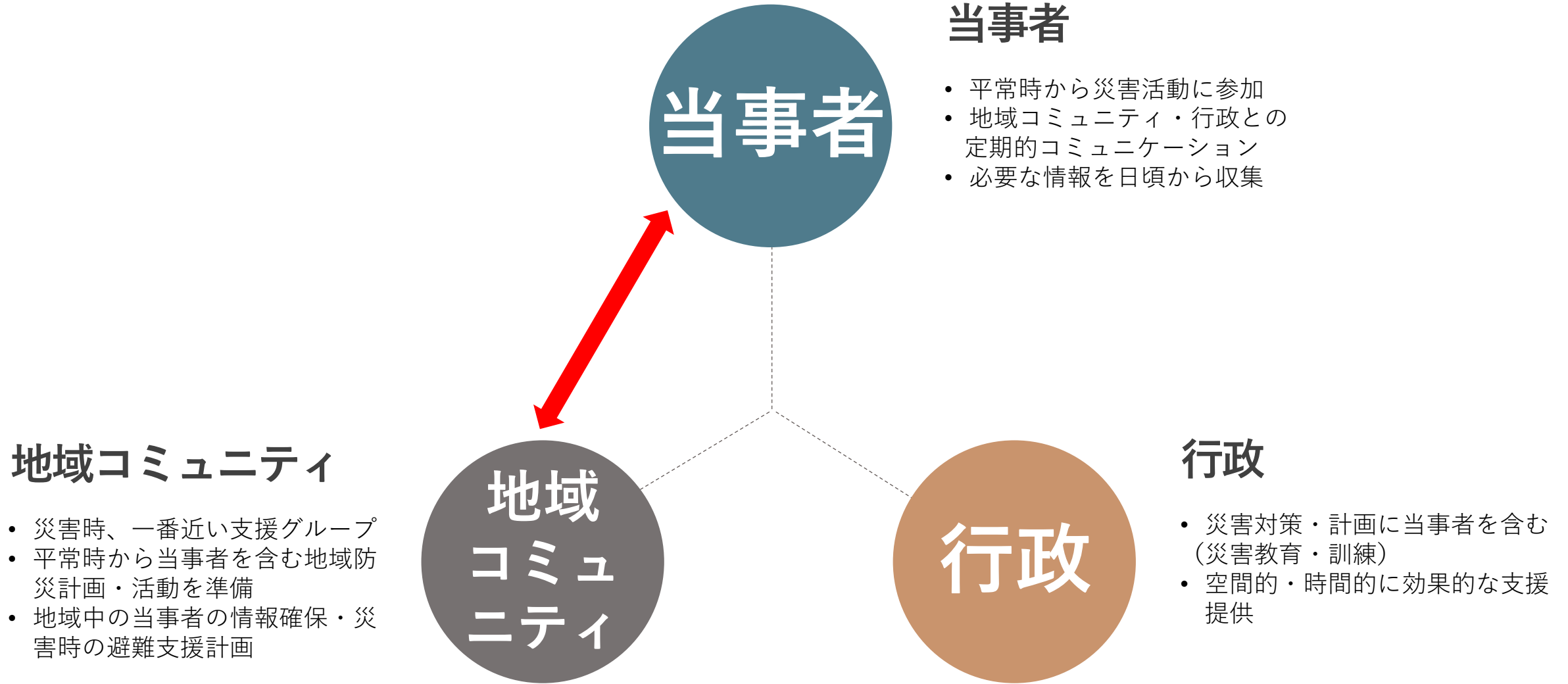
Part 3,



まとめ：誰一人残さない
防災コミュニケーション



誰一人残さない防災コミュニケーション



誰一人取り残さない防災に向けて ～医療的ケア子・者とその家族と 地域防災コミュニケーションの必要性～

朴慧晶、北村美和子、原裕太、小野裕一、栗山進一

東北大学 災害科学国際研究所 (IRIDeS)